



ながおか

社協だより



赤い羽根共同募金が始まりました！

P2～3

**特集：新しい生活様式での
支え合い活動〈若者編〉**

P4～7

表紙：栃尾地域 田之口かかしまつり

〈主な内容〉

- P8 福祉のカフェりらん紹介
- P9 長岡市社会福祉協議会 会長表彰
- P10 ボラセンだより
- P12 情報コーナー

“ながおか社協”の日常の様子は
HPにて随時更新しています。

ながおか社協 検索



この社協だよりは、赤い羽根共同募金配分金で発行しています。

赤い羽根共同募金が 始まりました!



運動期間

10月1日

12月31日

赤い羽根共同募金は、子どもたちや高齢者、障害者などを支援する様々な福祉活動に使われています。私たちが住む長岡市内で募金をすると、その大切なお金は長岡市内の活動の支援に使われます。

赤い羽根共同募金は『じぶんの町を良くしたい』という意志のある募金です。

新型コロナウイルス感染症が流行している中で厳しい経済状況が続いていますが、皆さまからのご理解とご協力をお願いします。

街頭で



自宅で



学校で



〈私たちが長岡市内の様々な場所で募金をする〉

災害ボランティア支援



ボランティアさんの一生懸命な姿に
勇気と希望をもらいました

〈長岡市内各地域の団体等の福祉活動
災害支援や新潟県内の福祉活動に使われる〉

高齢者への配食サービス

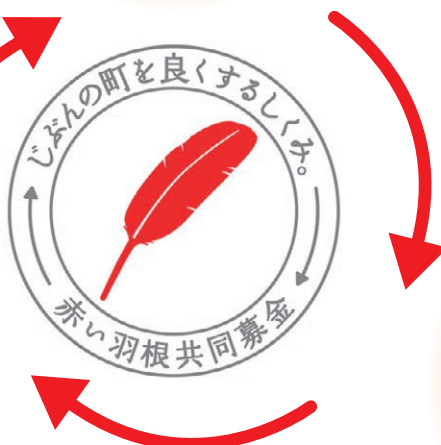


訪ねてくれるのを待っています

車椅子の移動車両



乗り心地も良く使いやすくなりました



〈募金が集まる〉

長岡市内の募金が一か所に
(長岡市共同募金委員会)

↓
新潟県内の募金が一か所に
(新潟県共同募金会)



赤い羽根共同募金の長岡市内での使い道はこちらでもご覧になれます。

赤い羽根データベース「はねっと」

はねっと 長岡

検索



募金の**100%**が**福祉**のために使われます

募金の約70%は長岡市内各地域の団体等の福祉活動のために
約30%は災害支援や新潟県内の福祉活動のために

団体からのありがとうメッセージ



大島地区福祉会



助成金で一人暮らし等の高齢者食事サービス事業を実施することができました。

地域のボランティアの方々の協力により、真心のこもった手作りのお弁当をお届けし、地域の利用者の皆さんに喜んでいただけました。

お弁当の配食を通し、一人暮らしの方々の見守りを行うこともできました。

今後も美味しいお弁当を届けていきたいです。

ありがとうございました。

長岡市手をつなぐ育成会中之島班



助成金で調理実習事業を行いました。

障害のある子どもたちが、将来自立した生活を送れるようにと始めた事業です。

できるだけ子どもたちとボランティアさんに活動を任せています。親が見守ることで、家庭の他に地域の方々との交流を持ち、今後より良い地域生活を送るための土台づくりができると期待しています。

これからも子どもたちに色々な体験をしてもらいたいと思います。ありがとうございました。

このほか、本号特集(P4～7)の活動等にも赤い羽根共同募金が使われています

感染対策を取りながら実施!

今年も各地域で街頭募金活動を行います

昨年の街頭募金の様子



長岡地域



小国地域



三島地域

ボランティアの皆さま
ご協力ありがとうございます!



「困ったときはお互いさま」の思いが、長岡市内の各地域から集まります。
募金をする人、活動をする人、支えられる人は、みんな赤い羽根でつながっています。今年も皆さまの温かいご支援をよろしくお願いします。

新しい生活様式での 支え合い活動〈若者編〉

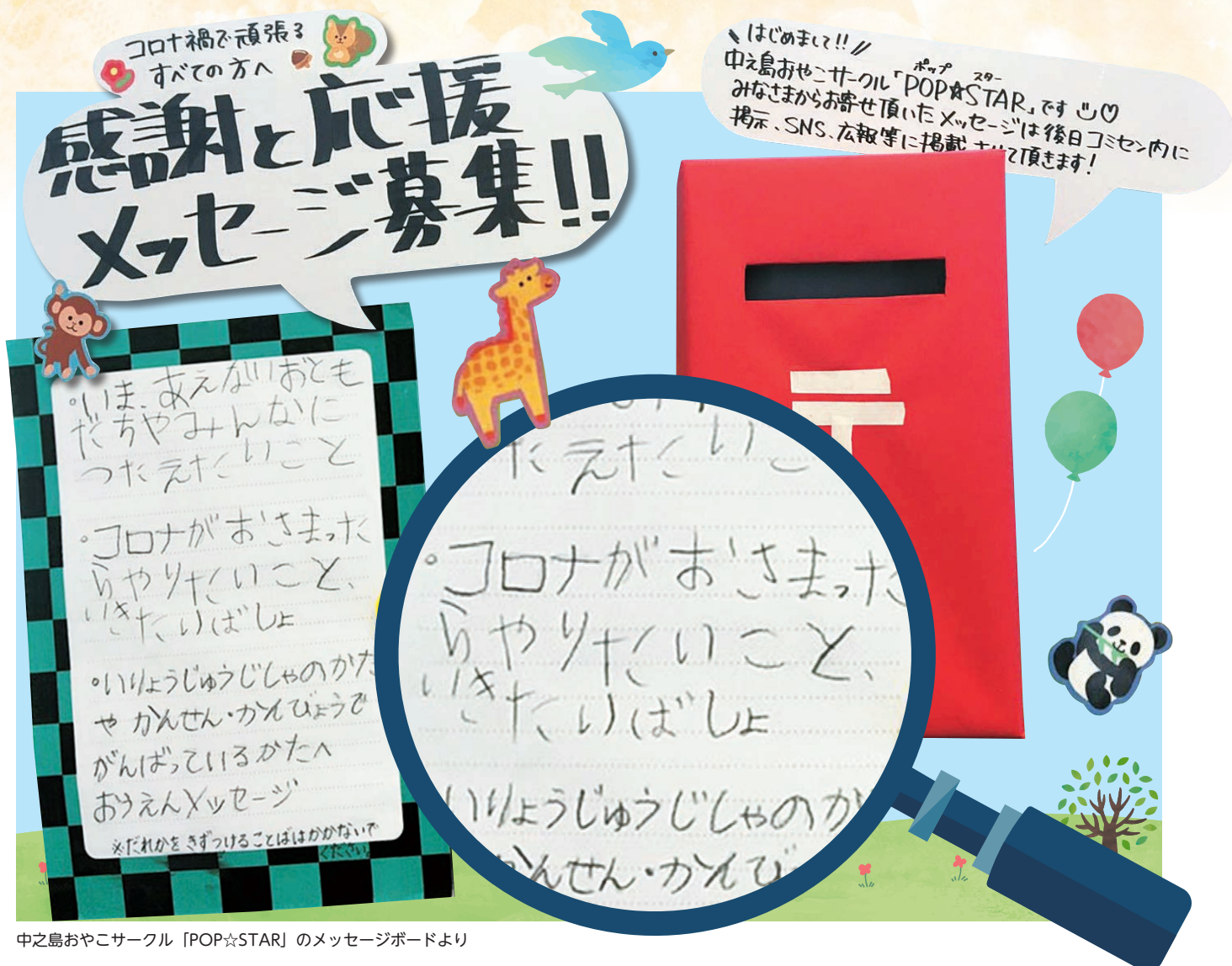
長びくコロナ禍での生活。

日々飛び交うのは、「我慢」・「制限」・「自粛」・「停滞」…マイナスイメージの言葉ばかりで、何も行動を起こせないで困ったり、悩んだりしている方も多いのではないのでしょうか。

しかし、そんな中であっても、「継続」・「支える」・「支えられる」・「頑張る」・「工夫」…なんだかちょっぴり元気になれるようなワードが詰まったこともいっぱいあります！

本号は、前号の特集に引き続き、地域で活動している方の中でも働き盛りの方、あるいは活動の対象が若い人（子どもたちも含め）にフォーカスして、活動内容や今感じる様々な思いについてご紹介します。

紙面を通じて、元気や笑顔になるヒントになりますように！



中ノ島おやこサークル「POP☆STAR」のメッセージボードより

POP☆STAR

ゆるりとした感じがモットーで、「こんなことやりたい」と思ったメンバーがLINEを通じて情報提供し、中之島コミセンなどに集まり活動が始まった「POP☆STAR」。

毎回30人くらいが集まり、子どもからママまで楽しいひと時を過ごしています。

コロナ禍の活動は？

しばらくの期間はLINEでの情報共有だけでした。『子ども用マスクが〇〇に売っているよ』『〇〇のテイクアウトおいしいよ』など、コロナ禍ならではの話が多かったです。

感染が落ちていた昨年秋頃、久しぶりにイベントを開催

①おにぎりパーティー

- ・各家庭でお米を用意
- ・各々の器にご飯を盛り付けてラップ利用のおにぎり作り
- ・ママたちの手作りお味噌汁
- ・個包装のお菓子配布

②クリスマスパーティー

- ・サンタブーツにお菓子詰め
- ・コーヒーマーカー持参でトークタイム

年末から感染が拡大したため再び会えない日々が続きました。そこで始めたのが

③「コロナ禍で頑張っている人たちへ」と題したメッセージボードの設置

- ・メッセージボックスを作りコミュニティセンターに設置
- ・いただいたメッセージをポスターにしてコミュニティセンターに掲示

コロナ禍の活動における不安はありますか？

コロナに対する思いもさまざまあり、集まるのが難しいことです。



活動をはじめたきっかけは何ですか？

母子保健推進員が運営していたサークルでできたママ友の中で「子育て中のママ達がもっと集まれる場が欲しい」という思いがありました。

このことを当時のコミュニティセンター長に相談したところ、快く背中を押してくださりPOP☆STARが誕生しました。

活動して起こった変化はありましたか？

①協力しあって活動を運営していくことで生まれる安心感。

ママ達にはいろいろな特技があります。その特技が集結することで毎回のようにな化学反応が起こり『素敵な学びの時間』になっています。

②複数の世帯が関わることで生まれる「子どもの成長」。

「大人」「子ども」ではなく「人」「人」として関わりが持っています。

この活動に「一歩踏み出せた原動力は？」

「作りたい」という気持ちとそれに応えてくださった当時のコミュニティセンター長の心意気です。

自分が感じる活動の魅力は？

地域で、同じ悩み・思いを抱える仲間とのつながりがもてることです。引越してきて間もないマ

マたちは不安を抱えています。しかしPOP☆STARの存在を知り入会できたことでたくさんの仲間が増えました。

それぞれの立場で今できることこれからやりたいことはありますか？

コロナ禍であつてもやり方を工夫してPOP☆STARが長続きする活動を続けていきたいですね。ママたちの特技や悩みを共有する場があるというのは、何よりもの安心感につながります。その中に『学び』もあり、お互いの成長を感じられる場を子ども達の時代まで継続できるよう土台を育てたいです。

ひとことPR

平成25年から中之島地域で活動を継続しています。

活動日は特に設けず、「これをやりたい!」と思ったときにグループLINEで周知して、時間の許す中で集まり活動をしています。

ママ達の得意技が集まり、『お互いさま』の心で学びあいながら、ママ技等のスキルをアップさせています。

コロナ禍で集まれる日が激減していますが、この輪を広く長くつなげられるよう、心を通わせて行きたいと思っています。

黒条地区

黒条みんなの食堂

地域のつながりを作りたいと町内会や地域の活動を積極的に行っている大竹さんご夫婦。

「みんなで美味しいごはんを食べよう」と昨年11月に食堂を立ち上げ、コロナ禍でも継続的に開催されています。

活動をはじめたきっかけは何ですか？

地域の活動を活発にするためには、住民同士のコミュニケーションが大切で、交流の場所が必要なのではないかと考えました。住民同士でコミュニケーションをとれていれば、いざという時にも助け合うことが出来ます。



大竹 祐介さん 大竹 綾子さん



また、地域で暮らす同世代や子育て世代から「地区の人と交流したいけど、どうしたらよいか分からない」「きつかけがない」

といった話があり、上手につなげる方法がないかを考えていました。おいしいものを食べて、幸せになり、「明日も頑張ろう…」と思ってもらえたら、と食堂にしました。

どのような特徴がありますか？

手作りの美味しいものを提供すること。スーパードのお総菜も便利ですが、作った人の顔が見える食事は心も元気にしてくれるものです。地元の農家さんや、賛同いただいた企業からもご支援いただき、季節の野菜やおいしい食材を使った料理を作っています。普段目にしない食材をいただくこともあり、子どもたちの「食育」にもなっています。パッションフルーツをいただいた時には、食べ方が分からず、パティシエからムースにしてももらいました。

活動の魅力や原動力を教えてください。

子どもたちから「おいしい」「また食べたい」と言われることはもちろんうれしいです。

また、保護者の方からは「食堂が開催される日は、夕食の準備をしなくて良いので、赤ちゃんと一緒にお昼寝ができる」「心にゆとりが持てる」とのお声をいただいたこともありました。この食堂が地域の人に必要とされていると実感できました。食数が増えて、調理は大変ですが、地域の人がお弁当を待っていてくれるのでやりがいがあります。

活動を継続するためにどのような工夫をされていますか？

マメな情報の発信を行っています。プレスリリースをすることで新聞に掲載されたこともあります。開催レポートを毎回作成して、地域住民や協力いただいた方に報告しています。情報を発信することで広く知ってもらい、立ち上げ当初は関わりがなかった地域の人や企業とつながり、食材の提供やボランティアの協力などの申し出が来るようになりました。

自分たちの想いや活動を発信することは、活動継続のために必要なことだと考えます。

会場を移されたそうですね？

7月から会場



を公民館からコミュニティセンターに移しました。コミュニティセンターは児童館の隣にあるので、児童館を利用している子どもたちやその家族が利用しやすいなっと思えます。家に帰る前に、食堂に寄って食事することで家事の負担が減り、家族団らんの時間が増えることがうれしいです。

今後の活動についてどのような想いをお持ちですか？

食堂での交流を通して住民がつながることで、それぞれで行っている地域の活動を一体的に連携して行えるようになればと思います。点と点をつなぎ、地域の活動の活性化につなげたいです。

ひとことPR

毎月第一金曜日の午後5時15分頃から黒条コミュニティセンターで開催しています。現在はコロナ禍のため、お弁当の配食のみとなっています。

昨年11月の立ち上げ時は50食の提供だったものが、今では350食まで増えました！子どもたちに限定していいないので、だれでも気軽に利用できます。

世話人代表 大竹祐介さん
事務局 大竹綾子さん

高校生

From Gen Z

From Gen Z

高校生の活動団体を立ち上げた
長岡高等学校2年の王韻楊さん、
皆川綺理さんにお聞きしました。

活動を始めたきっかけを教えてください。

高校生でも何か地域に貢献できることはないかと思い、学校以外で活動できる場所として「From Gen Z」というサークルを立ち上げました。現在は、長岡高校や大手高校、長岡高専を中心に32人の高校生が活動しています。

団体名の「From Gen Z」には、どのような意味があるのでしょうか？

1990年代後半以降に生まれた世代はZ世代と言われています。私たちがZ世代の高校生が始めた活動が、長岡に住む次の世代の高校生に引き継がれていくことを願って、「From Gen Z」と命名しました。

今までのような活動をされてきましたか？

これまで子ども食堂でお弁当の

配布手伝いや小学生の学習支援、フードバンク、森林の環境整備などのボランティアをしました。



森林環境整備



子ども食堂

コロナ禍で、特に力を入れた活動はありますか？

コロナ禍で2年続けて長岡まつりが中止になり、長岡市内の留学生が伝統的な日本文化に触れる機会が少なくなりました。そこで、感染拡大の予防対策を行ったうえで、留学生を対象とした伝統文化

交流会を開催しました。

市内の中学校、高校、大学等の留学生に呼びかけて、当日は約20人が参加しました。感染拡大予防の対策を行いながら、浴衣体験や盆踊りのほかに、民謡協会の皆さまからご協力していただき和楽器の演奏体験を行いました。

私たちの企画で参加者が笑顔で交流している姿を見て、充実感や達成感を感じました。

活動の魅力を聞かせてください。

多くの人から必要とされる充実感や自分自身の成長が魅力ですね。それと、多世代の人たちと関わること、ボランティアに関わっている人の価値観や信念にふれることで、色々な見方や考え方に気づくことも魅力の一つかもしれません。

今後、どのような活動を目指そうと考えていますか？

多くの人に接し、地域の活動を知ることでも様々な価値観を学ぶことができると思います。そのため、学校の垣根を超え多くの高校生が参加できるような活動にしていきたいと思います。

高校生が勉強や部活だけでなく、学校を離れた場面で活躍できるような活動を考えています。



伝統文化交流会

ひとことPR

From Gen Zは高校生が地域に貢献することを目的に積極的に活動しています。学校外で活躍する場を作り、コロナ禍で様々な活動が制限されていますが、それぞれ自由に最大限力を発揮しています。色々な高校生の加入を歓迎していますので、興味がある方はぜひお願いします！

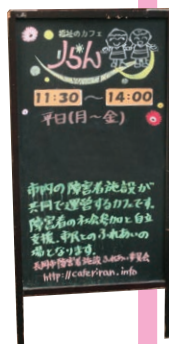
memo

各施設で作っているパンやお菓子だけでなくドリンク各種もご用意しています。ぜひ、ご利用ください!!

〈営業日〉月～金曜日 ※祝日休業

〈営業時間〉11:30～14:00(月・木曜日)
11:30～15:30(火・水・金曜日)

〈場所〉シティホールプラザ アオーレ長岡
西棟1階ホワイエ内
(長岡市大手通1-4-10)



福祉のカフェりらんは、市内の障害者施設が共同で運営しています。その参加団体である、指定障害福祉サービス事業所創造工房コスモス(与板地域)の山岸泰世さんと山田るなさんにインタビューをしました。



声かけを積極的してくれる
山岸泰世さん

これまでで一番嬉しかったことは何ですか?
山岸さん▶幅広い作業ができて、自信がついています。

りらんではどんな仕事をしていましたか?
山岸さん▶パンやクッキーの陳列や食品の販売、食べ物やドリンクをお客さんにお渡ししています。また、「いらつしやいませ」「ありがとうございます」「ごさいます」など、積極的に声かけをして、店内の雰囲気をも明るくするように心がけています。
山田さん▶ドリンクを作ったり、洗い物をしたり、開店の準備、閉店の後片付けなど様々なことをしています。

山田さん▶磯田市長がりらんに買い物に来ていただいた時驚いたのと市長が身近に感じました。りらんにいろんな方が来てくれて、すごく嬉しいです。



他のメンバーへのフォローもさりげなく行う山田るなさん

りらんの仕事で楽しいところはありますか?
山岸さん▶多くの人と交流できることです。楽しく活動しています。
山田さん▶多くのお客さんから、「おいしかった」と言ってもらえたことで嬉しく、やりがいを感じています。

おいしいパンやクッキー、ドリンクがあります。



山田さん▶いつも支えてくれて、大変ありがたいです。
これからやってみたいことはありますか?
山岸さん▶学んだことを活かし、仕事の量を増やしていきたいと思っています。
山田さん▶この経験を通して、清掃の仕事があつたら、やっていきたいです。

長岡市社会福祉協議会 会長表彰

長岡市の福祉の発展に尽くされた方々を紹介いたします。(敬称略)

民生委員・児童委員で12年以上勤続し、特に功績顕著の者

山本 徹
森山 順子
太田 弘子

民間社会福祉事業施設、団体の役員で12年以上勤続し、特に功績顕著の者

小林 淳 [長岡市老人クラブ連合会 長岡支部]
黒川 篤子 [社会福祉法人 龍合福祉会 岡南こども園]
大宮五十男 [社会福祉法人 龍合福祉会 岡南こども園]

長岡市社会福祉協議会の役員で12年以上勤続し、特に功績顕著の者

島岡 貞雄 [監事]

社会福祉の向上に尽くし、特に功績顕著の者

長部二三子 [松葉の会]
三浦 和子 [日常生活自立支援事業生活支援員]
大橋 章克 [日常生活自立支援事業生活支援員]
高頭 行雄 [特定非営利活動法人 長岡医療と福祉の里ボランティア連合会]

表彰式は10月22日(金)に長岡市社会福祉センター
トモシアで行う予定です。



ともしび基金にご協力お願いします

ともしび基金はともしび運動を支える市民参加の基金として誕生しました。高齢者の食事サービスなどの各種ボランティア活動など、地域の支え合い活動や地域福祉推進のために使われます。
寄附は長岡市社会福祉協議会本部事務局・各支所で受け付けています。
※問い合わせ先はP12をご覧ください。



●地域での福祉活動に

- ・ボランティア銀行(軽易な家事支援)
- ・ふれあい型食事サービス事業(会食・配食)
- ・小地域ネットワーク活動(見守り活動)
- ・福祉送迎サービス事業(無償通院送迎サービス)
- ・ふれあい・いきいきサロン活動(地域の茶の間)

●ともしび運動の啓発事業に

- ・すこやか・ともしびまつり
- ・ふれ愛コンサート ※令和3年度中止
- ・ともしびポスター展、リーフレット作成

●その他の活動に

- ・ボランティア大学の開催

PickUp!!

こんなことに
生かされています



ふれあい・
いきいきサロン



皆さまから心あたたまるたくさんの寄附金品をいただき、心から感謝申し上げます。いただいた金品は、社会福祉のため、有効に活用いたします。
(令和3年7月1日から令和3年8月31日まで 敬称略)

〈本部事務局〉
7.1 豊田地区ブランドゴルフクラブ

7.15 アピタ長岡店…………… 一三四、五三八円

〈山古志支所〉

8.18 山古志自動車…………… 五、五四七円

〈小国支所〉

8.5 山田 徹夫…………… 一〇、〇〇〇円

〈和島支所〉

8.3 山崎 正義…………… 五、〇〇〇円

〈栃尾支所〉

8.6 栃尾グラウンド・ゴルフ協会…………… 四二、八五八円

〈川口支所〉

7.19 匿名…………… もち米 三〇kg



栃尾グラウンド・ゴルフ協会様から
ご寄附いただきました。

たくさんの方の善意がありがとうございました。
今後も皆さまからの善意をお待ちしております。

ボラセンだより



長岡市
ボランティアセンター
イメージキャラクター
トモセくん

ご案内

トモシアクリスマスファミリーコンサート

子どもから大人まで楽しめるコンサートです！

日時 12月19日(日) 午後1時30分～午後4時
会場 トモシア多目的ホール
料金 無料
内容 楽器演奏、ダンス、マジック、紙芝居など誰もが楽しめる内容です。

定員 50人 ※事前申し込みが必要です。

受付期間 11月4日(木)から12月15日(水)
※定員に達し次第終了します。お申込みはお早めに！

申込方法 申込フォーム・電話・FAXのいずれかで、氏名・人数・連絡先(電話、FAX、メールのいずれか)をご連絡ください。



←こちらからお申し込みできます

新型コロナウイルス感染拡大の状況により変更することがありますので、予めご了承ください。

○トモシア文化祭は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は中止となりました。



ギター演奏の様子

ボランティア活動紹介

ともしあマジッククラブ

会長 北原公弘 会員20人

ともしあマジッククラブは、ボランティアセンターが実施した「地域のスター養成セミナーマジック初心者講座」の受講生を中心に、平成29年11月に結成しました。

主に高齢者施設や地区コミュニティセンター、小学校・幼稚園などで、マジックを披露しており、観客の驚きの表情と笑顔が大きなモチベーションとなっています。

活動にはマジックの上達が欠かせませんが、マジシャンのバーディ山井さんの指導を受けながら、仲間と一緒に無理なく、楽しく学べることも大きな喜びです。

私たちは、マジックを通じて見る人を楽しませ、自分たちも楽しんで活動できるボランティアサークルです。興味のある方は、見学や体験ができますので、気軽にご連絡ください。

活動日時 第2・4(月) 13:00～15:30

活動場所 長岡市社会福祉センタートモシア3階 研修室



講座を開催しました

夏休み おもちゃドクター親子体験講座

おもちゃ病院のドクターが一緒に1人付き添って優しく教え、子どもたちは、おもちゃドクターになりきり修理体験を行いました。同時に「もの」を大切に作る気持ちも学びました。

〈参加者の感想(抜粋)〉

- ・難しかったけど最終的に動くようになり良かった。
- ・色々な道具が分かり良かった。おもちゃを直すのが楽しかった。



協力：長岡おもちゃ病院

高校生ボランティア講座

「自然の中でボランティア体験をしよう」をテーマに、ヨモギ収穫の活動体験を行いました。参加者は、活動先団体からの「地元の良いところを忘れず、やりたいことは失敗を恐れずチャレンジしてほしい」とのメッセージをしっかりと受け取りました。



〈参加者の感想(抜粋)〉

- ・ペアの人と話し合い協力することでコミュニケーションの大切さを改めて知ることができた。
- ・自然を感じることができ、色んなことにチャレンジし、自分の限界を知ることが大切だと学んだ。

協力：UNEHAUS

ボランティア大学 基礎講座

ボランティアを養成するために、全11回の基礎講座を開催しています。今年度は17人の受講生が参加しています。

第8回の講座では、点字・音声訳・要約筆記・手話の講義が行われました。講義後の振り返りシートから受講生の感想を紹介します。受講生の学びがさらに深まるよう、基礎講座の充実を図っていきます。

〈受講生の感想(抜粋)〉

- ・点字は難しかったけど徐々に楽しくなり、もっと学びたいと思いました。
- ・要約筆記や手話を初めて体験し、とても新鮮でした。講師の方が目的をもって講義をしている姿を見て感銘しました。



点字の体験学習の様子

除雪ボランティア登録募集！

自分で除雪を行うことができない高齢者世帯や障害者世帯等での除雪支援に協力いただける、個人または団体のボランティアを募集します。

募集範囲 個人または長岡市に関連する団体・企業・機関・学校

募集期間 令和3年10月4日(月)～令和4年3月31日(木)

活動内容 玄関先や家の周りの除雪作業 ※屋根の雪下ろしは行いません。

活動方法 事前に登録していただき、支援が必要なときに活動を調整します。

活動保険 ボランティア活動保険に加入します。保険料は長岡市社会福祉協議会が負担します。

報酬 活動に対する報酬はありません。

申込方法 登録フォームから登録いただくか、登録申込書をダウンロードしていただき、必要事項をご記入のうえFAXまたはメールでお送りください。電話や窓口で登録いただくこともできます。



←こちらからお申し込みできます

○申込み・問い合わせ・相談は、長岡市ボランティアセンターまでお願いします。

〒940-0071 長岡市表町2丁目2-21 長岡市社会福祉センタートモシア内

電話：94-5588 FAX：32-5210

情報コーナー

準職員募集

日常生活自立支援事業専門員（常勤準職員）

- ・本部事務局 権利擁護支援課（問い合わせは総務課へ）

介護支援専門員（常勤準職員）

- ・栃尾支所 ・川口支所

訪問介護員（常勤準職員）

- ・本部事務局 介護サービス課

訪問介護員（パート準職員）

- ・本部事務局 介護サービス課
- ・栃尾支所



★詳しくはホームページをご覧ください。

採用情報▶

【問い合わせ先】長岡市社会福祉協議会 市外局番（0258）

●本部事務局

長岡市社会福祉センタートモシア

【所在地】〒940-0071 長岡市表町2丁目2番地21

※長岡駅大手口から徒歩約10分

- ・総務課 TEL 32-1442 FAX 33-6004
- ・地域福祉課 TEL 33-6000 FAX 33-6004
- ・権利擁護支援課 TEL 32-7833 FAX 33-6004
- ・ボランティアセンター TEL 94-5588 FAX 32-5210
（トモシア）貸室専用 TEL 32-5200 FAX 32-5210
- ・介護サービス課 TEL 39-2247 FAX 31-8830
長岡市水道町3丁目5番30号

- 中之島支所 TEL 66-0688 FAX 66-0689
長岡市中野中甲1666番地2 サンパルコなかのしめ内

- 越路支所 TEL 92-4656 FAX 92-4924
長岡市来迎寺3697番地 越路総合福祉センター内

- 三島支所 TEL 42-3760 FAX 42-3761
長岡市上岩井1261番地1 長岡市三島支所内

- 山古志支所 TEL 41-1180 FAX 59-2081
長岡市山古志虫亀219番地2 山古志地域福祉センターなごみ苑内

- 小国支所 TEL 95-2027 FAX 95-2591
長岡市小国町新町304番地1 おぐにコミュニティセンター内

- 和島支所 TEL 74-2911 FAX 74-2912
長岡市小島谷3560番地1 高齢者コミュニティセンターゆきわり荘内

- 寺泊支所 TEL 75-2368 FAX 75-2945
長岡市寺泊金山170番地3 老人憩いの家 夕映荘内

- 栃尾支所 TEL 52-5895 FAX 53-2263
長岡市新栄町2丁目2番23号 栃尾保健福祉センター内

- 与板支所 TEL 72-4714 FAX 72-4712
長岡市与板町本与板2380番地1 志保の里荘内

- 川口支所 TEL 89-3117 FAX 81-5020
長岡市西川口1168番地 高齢者生活支援ハウス川口ぬくもり荘内

福祉の店 パレット長岡

福祉の店パレット長岡では、障害のある人の自立と社会参加を目指し、心を込めて作った製品を展示・販売しています。

皆さまのご来店をお待ちしております。



人気商品

・EMぼかし

250円（ほがらか福祉園）

生ごみをEMぼかしで発酵させて、良い堆肥をつくります。年間を通して人気のある商品です。



・健康布ぞうり

1,100～1,500円

（田上町障がい者支援センター、結屋、さつき工房）

蒸れのないさわやかな履き心地のぞうりです。お部屋などご利用いただけます。



・椿油 500円（自遊館）

髪のかげにオススメ商品です。髪が濡れているうちに毛先につけると良いです。



ご来店お待ちしております

<問い合わせ> 市内の下記のところで販売しています

長岡市社会福祉センタートモシア1階

TEL：32-1442 営業時間 10：00～16：00

- ・志保の里荘…………… TEL:72-4649 営業時間 9:00～17:00
- ・老人福祉センター皆楽荘…………… TEL:52-1601 営業時間 9:00～17:00
- ・セブン-イレブンアオーレ長岡店… TEL:34-5677 営業時間 9:00～23:00

ふれあい福祉総合相談所

日常の心配ごとや悩みごとの相談は、左記の「問い合わせ先」へお願いします。（※長岡地域は本部事務局権利擁護支援課へ）

※秘密・プライバシーは固く守られますので、安心してご相談ください。

●一般相談

日時（祝日及び12月28日～1月4日を除く）	
長岡	毎週月・水・金曜日 13：00～16：00 ※一般相談員対応 毎週火・木曜日 13：00～16：00 ※職員対応
中之島・越路 三島・山古志 小国・和島 寺泊・栃尾 与板・川口	毎週月～金曜日 9：00～12：00 13：00～16：00 ※職員が対応しておりますので、来所される前にご連絡ください。

●法律相談（予約制）

日時（祝日及び12月28日～1月4日を除く）	
長岡	毎週火曜日 13：00～16：00 ※弁護士対応 （1人30分まで 年2回）